

○参加費 2000円(学生1000円) ※参加費は当日お支払いください

○持ち物 教材研修会に参加される方は、体育館シューズ・運動できる服装・飲み物・タオルなどをご持参ください。(更衣室はあります。) ※見学のみの参加も可能です。

○申し込みについて

参加ご希望の方は、Web上 (<http://kantaiken.jp/>)でお申し込みください。

※参加証を所属校に発送いたします。申し込みの際、所属校の住所を入力してください。

また、当日、参加証は必ず持参ください。また、FAXでの申し込みは受け付けていませんのでご注意ください。



関体研ホームページQRコード

☆毎年たくさんの先生方に、ご参加いただいています。しかし、安全確保のため、参加者が定員に達した場合は、会場の都合上、途中で締め切らせていただくことがあります。ご了承ください。



■問い合わせ先

事務局  
担当 西岡 毅

E-Mail [nishitsu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:nishitsu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

平成 29 年 11 月 25 日 (土)



第 8 回の研究会  
公開授業より



# 第 9 回 関西体育授業研究会

主催  
関西体育授業研究会

後援  
大阪府教育委員会  
大阪市教育委員会  
(申請予定)

顧問  
三木 四郎(元神戸親和女子大学)  
青木 和男(元箕面自由学園幼稚園 園長)

米村 耕平(香川大学)  
梶井 大輔(プール学院大学)

相談役  
佐々木 靖  
(大阪教育大学附属池田小学校 校長)



## 授業力向上

～子どもと子ども、子どもと教材をつなぐ授業～

本研究の一番の『ウリ』は、子どもがいるきた授業で学びを深められることです。昨年の研究会では、子どもの姿、教師の姿をもとに約300名の参加者が集い、明日の体育について語り合いました。

今年の第9回研究会は、『授業力向上 ～子どもと子ども、子どもと教材をつなぐ授業～』をテーマに、どんな教材が有効であるのか、我々は何をしなくてはならないのか、何ができるのかをみなさんとともに考えていきたいと思ひます。

第9回研究会は、2つの授業と5つの実践発表を予定にしています。これからの体育についてみなさんと一緒に語り合ひましょう!

ホームページ上にて受付中!!

<http://kantaiken.jp/>

場所 大阪教育大学附属池田小学校



教材研修会



授業後協議会



平成 29 年 11 月 25 日 (土)  
8 時 45 分～

# 関西体育授業研究会

場所 大阪教育大学附属池田小学校



**教材研修会**  
公開授業で提案した教材を、実際に体を動かし体験します。子どもたちの喜ぶ顔を見るために一緒に汗を流しましょう。

梶井 大輔先生(プール学院大学)  
講演テーマ  
～子どもと子ども、子どもと教材をつなぐ教師力～



8 : 20 8 : 45 9 : 00 9 : 45 10 : 00 10 : 45 11 : 00 12 : 30 13 : 15 14 : 00 14 : 10 15 : 10 15 : 30 16 : 30

受付	開会挨拶	公開授業Ⅰ	休憩	公開授業Ⅱ	移動	協議会Ⅰ・Ⅱ	昼食	講演会	移動	実践発表(5実践)	休憩・更衣	教材研修会
----	------	-------	----	-------	----	--------	----	-----	----	-----------	-------	-------

**公開授業Ⅰ**

だん だん Dance

～やってみよう 1・2 1.2.3(2年生)  
全身で自由に踊る「リズム遊び」。低学年段階における学びとは何か。短時間で全身、全心でリズムの世界に浸り、関わり合いながら踊ることが学びを深める手段となりうる授業展開を提案します。

授業者 摂津市立鳥飼小学校  
遠藤 陽

**協議会**

《授業Ⅰ》  
助言者 三木 四郎先生(元神戸親和女子大学)  
梶井 大輔先生(プール学院大学)  
《授業Ⅱ》  
助言者 米村 耕平先生(香川大学)  
青木 和男先生(元箕面自由学園幼稚園 園長)

**実践発表**

「みんなが学べる教材、授業」にこだわった5つの実践を発表します。5教室に分かれ、30分×2でおこないますので、前後半2つの実践をお聞きください。

**リアルタイム授業解説**

授業のポイントの解説を聴きながら、参観できます。指導者の意図や子どもの動きをリアルタイムで解説します。  
(授業Ⅰ・Ⅱともに、希望者のみ)

**公開授業Ⅱ**

バスポートボール

～バスケットボールのゴール局面を焦点化して～(5年生)

- ①「シンプルで運動本来の楽しさに没頭しながら戦術を学べるゲーム教材」
  - ②「子どもの学びを保证する単元の流れや支援の仕方」
- この2点を提案します

授業者 堺市立浜寺小学校  
渡邊 和也

	発表者	内容
A	滋賀短期大学附属幼稚園 近藤 鉄矢 本会顧問 青木 和男	「愉快地に体力づくり」を研究テーマに据えて取り組んできた本園の実践を発表します。小学校の体育につながる基礎的な動き、多彩な動きが経験できるような遊びの様子を紹介します。
B	東大阪市立英田北小学校 吉田 和正	2年生の跳び箱遊びで忍者になりきって動きを高め合う授業。苦手な子にこだわって個々の「できる」を大切に、関わり合いながら確かな動きができるようになっていく子どもの姿とともに報告します。
C	香川県三木町立氷上小学校 米谷 将太	子どもたちが「できそう」と主体的に運動に取り組み、「できばえ」に挑戦する中で、マット運動の楽しさや喜びを味わうことを目指した6年生の実践を紹介します。
D	滋賀県甲賀市立貴生川小学校 森井 大志	ゴールを意識した動きの獲得と、シュートを決める喜びを感じるゴール型ゲームの学習を提案します。
E	箕面市立豊川南小学校 松本 宏紀 箕面市立中小学校 森川 力	低、中、高学年それぞれの発達段階に応じた学びを大切にしたいネット型ボール運動教材を3つ紹介します。

